



# 岐阜県内の経済情勢

令和6年4月22日

東海財務局 岐阜財務事務所

# 1. 岐阜県内の経済情勢（令和6年4月判断）

項目	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）	前回比較	総括判断の要点
総括判断	緩やかに回復しつつある	回復に向けた動きに一服感がみられる 【令和4年4月判断以来、8期ぶり下方修正】		個人消費は、持ち直している。生産活動は、足踏みの状況にある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

〔先行き〕  
 先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

項目	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）	前回比較
個人消費	持ち直している	持ち直している 【令和5年10月判断以来、3期連続で同じ判断】	
生産活動	持ち直している	足踏みの状況にある 【令和4年4月判断以来、8期ぶり下方修正】	
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	緩やかに改善しつつある 【令和4年10月判断以来、7期連続で同じ判断】	

※6年4月判断は、前回6年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

# 1. 岐阜県内の経済情勢（令和6年4月判断）

## 【前回との比較（個人消費、生産活動、雇用情勢）】

	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）	前 回 比 較
総括判断	緩やかに回復しつつある	<b>回復に向けた動きに一服感がみられる</b>	

個人消費	持ち直している	持ち直している	
（百貨店・スーパー）	緩やかに持ち直しつつある。	緩やかに持ち直しつつある。	
（コンビニエンスストア）	持ち直しのテンポが緩やかになっている。	緩やかに持ち直している。	
（ドラッグストア）	堅調となっている。	堅調となっている。	
（ホームセンター）	弱い動きとなっている。	弱い動きとなっている。	
（家電）	弱い動きとなっている。	弱い動きとなっている。	
（乗用車）	持ち直している。	<b>このところ弱い動きとなっている。</b>	

生産活動	持ち直している	<b>足踏みの状況にある</b>	
（汎用機械等）	高水準ながら、弱含んでいる。	<b>弱い動きとなっている。</b>	
（輸送機械）	回復しつつある。	<b>回復に向けた動きに足踏みがみられる。</b>	
（電気機械）	持ち直しの動きがみられる。	持ち直しの動きがみられる。	
（金属製品）	回復しつつある。	<b>回復に向けた動きに足踏みがみられる。</b>	
（窯業・土石）	弱い動きとなっている。	弱い動きとなっている。	
（プラスチック）	弱い動きとなっている。	弱い動きとなっている。	

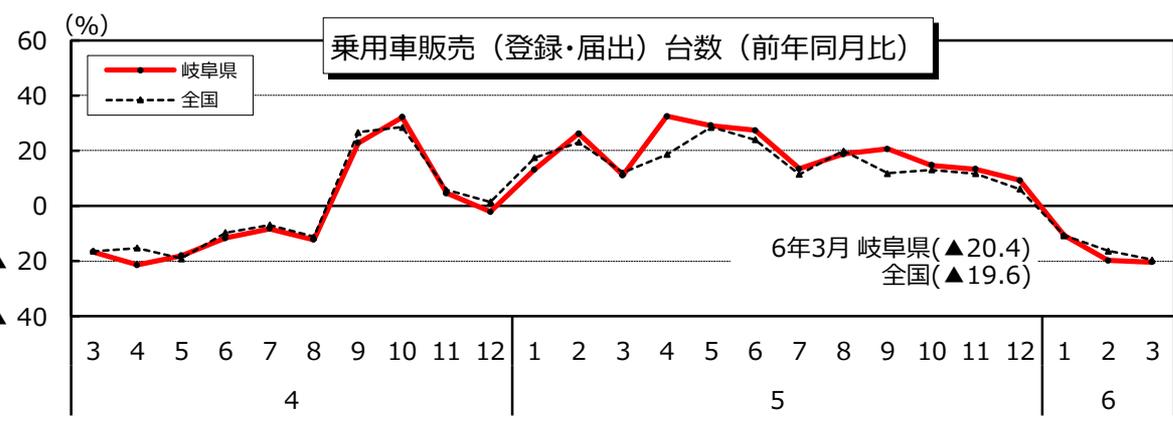
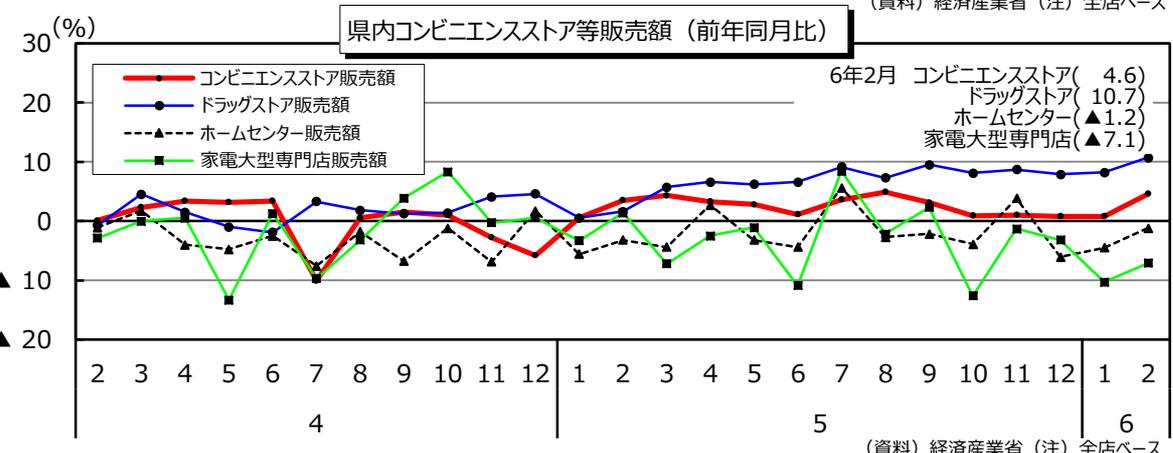
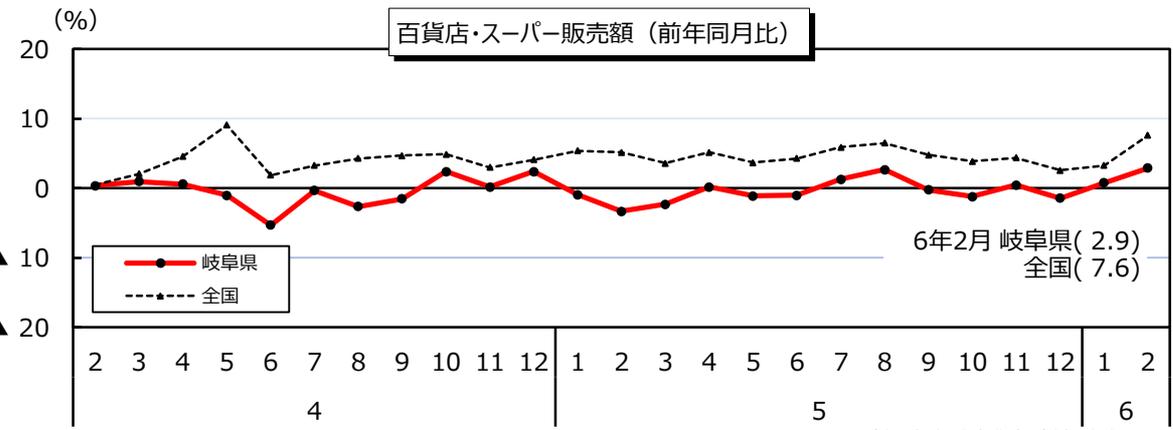
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	緩やかに改善しつつある	
（有効求人倍率）	おおむね横ばいで推移している。	おおむね横ばいで推移している。	

# 1. 岐阜県内の経済情勢（令和6年4月判断）

## 【前回との比較（設備投資、企業収益等）】

	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）	前 回 比 較
設備投資	5年度は増加見込み	5年度は増加見込み	➡
企業収益	5年度は減益見込み	5年度は減益見込み	➡
企業の景況感	全産業の現状判断（5年10-12月期）は「下降」超	全産業の現状判断（6年1-3月期）は「下降」超	➡
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	➡
公共事業	前年を下回っている	前年を下回っている	➡
企業倒産	件数は前年を上回っている	件数は前年を上回っている	➡

# 2.個人消費 ～持ち直している～

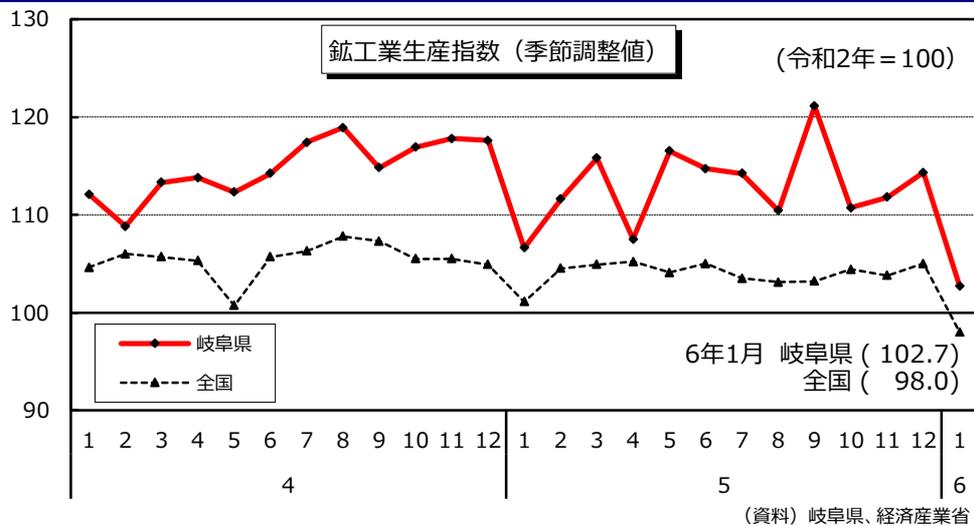


- 百貨店・スーパー販売は、緩やかに持ち直しつつある。
- コンビニエンスストア販売は、緩やかに持ち直している。
- ドラッグストア販売は、堅調となっている。
- ホームセンター販売は、弱い動きとなっている。
- 家電大型専門店販売は、弱い動きとなっている。
- 乗用車販売は、このところ弱い動きとなっている。

- 日常的に購入する商品では安価なPB商品が伸長する一方、節分やひなまつりなどでは、大容量で高単価のすしや惣菜が売れるなど、メリハリ消費がみられている。【スーパー】
- 外出機会の増加等により、化粧品や食料品のほか、風邪薬や花粉症対策商品が好調となっている。【ドラッグストア】
- 販売台数については、メーカーの生産停止及び出荷停止のほか、受注制限などにより、大幅な減少となった。【乗用車販売】

(資料) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

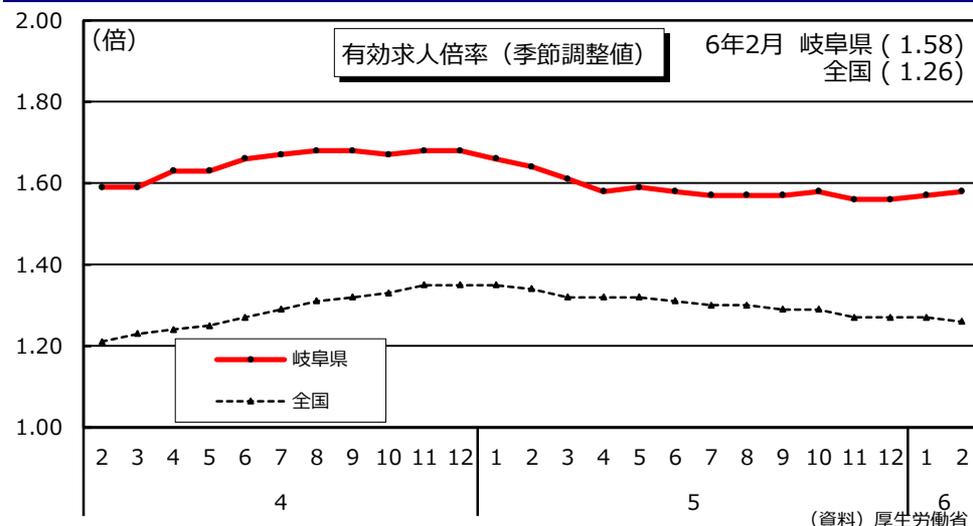
### 3.生産活動 ～足踏みの状況にある～



- ・ 汎用・生産用・業務用機械は、弱い動きとなっている。
- ・ 輸送機械は、回復に向けた動きに足踏みがみられる。
- ・ 電気機械は、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 金属製品は、回復に向けた動きに足踏みがみられる。
- ・ 窯業・土石は、弱い動きとなっている。
- ・ プラスチックは、弱い動きとなっている。

- メーカーの生産停止の影響を受けて、大幅に生産減少。生産再開後は回復傾向。 【輸送機械】
- 欧州等の景気減速の影響により需要は減少傾向が続いており、これに伴い生産も減少傾向。 【汎用・生産用・業務用機械】
- メーカーの生産停止の影響を受けて、大幅に生産減少。足下では影響が残るものの、今後回復する予定。 【金属製品】

### 4.雇用情勢 ～緩やかに改善しつつある～



- ・ 有効求人倍率は、おおむね横ばいで推移している。

- 新規出店の際、パートやアルバイトの人手が必要になってくる。飲食等のサービス業をはじめとして、各種企業が採用をコロナ禍前の水準に戻していることから、集まりにくい状況となっている。

【ホームセンター】

- エンジニアについて人手不足が深刻化する中、外国人の活用や奨学金制度等により確保を図っているものの、それでも完全な充足には至っていない。

【乗用車販売】

- 地域、正規・非正規社員問わずに人手不足感がある。正規社員の離職率も高い。業界では、有資格者を高額報酬で引き抜くこともあるなど、ヘッドハントも頻繁にみられる。

【ドラッグストア】

- 既存従業員の離職防止のほか、新規採用含めた人材確保のため、賃上げを実施。

【輸送機械】

1.本調査結果に関する問い合わせは下記にお願いします。

財務省東海財務局 岐阜財務事務所 財務課

TEL (058)247-4112 (ダイヤルイン)

2.本調査結果の概要は下記ホームページでもご覧頂けます。

<https://lfb.mof.go.jp/tokai/gifu.htm>